

# 問 南部地区のにぎわい拠点とは

## 答 名古屋競馬場・物流施設が開業



### 佐藤 高清 議員 政新会

都市計画マスタープランの進捗状況について以下を問う。

**問** 各種計画の基本的な考え方は。

**答** (市長) 令和2年3月に「立地適正化計画」を策定。本年3月には「総合交通戦略」を策定。現在「バリアフリー基本構想」を策定中。

**問** 市街地の計画的整備は。

**答** JR・名鉄弥富駅自由通路・橋上駅舎化事業と、弥富駅北口駅前広場等整備事業は重点施策。

**問** 良好な住宅・宅地の供給促進は。

**答** (仮称) 弥富新田土地区画整理組合発起人会が結成された。今後は整理事業実施の検証と、権利者の仮同意書収集を進める。

**問** 南部地区のにぎわい・交流拠点、産業拠点は。

**答** 令和4年4月に名古屋競馬場が移転開業予定。初夏には東海・北陸最大級の物流施設も開業予定。

**問** 幹線道路網は。

**答** 南北軸となる名古屋第3環状線は、前ヶ須地区と境・稻荷崎地区で、県により用地買収及び工事が進められている。北部では又八地区で県道弥富名古屋線の工事を実施。



**問** 兼業農家の未来を支える支援は

**答** 現状の支援を進める

農業経営基盤の強化について以下を問う。

**問** 市内農業経営実態は。

**答** (建設部長) 市内全体の農地面積は約1869ha。市街化区域内の農地面積は約39haで、全体面積からの割合は約2%。市街化調整区域内の農地面積は約1830haで、全体面積からの割合は98%。農家件数は市街化区域内で283件。市街化調整区域内で1739件。

**問** 「担い手」と「兼業農家」の将来像は。

**答** (市長) 農地中間管理事業により「出し手」は安心して農地を貸し付けられ「受け手」は安心して耕作できる。

**問** 兼業農家の未来を支える支援方策は。

**答** 農業農村整備事業では不公平が生じないように公共

性を有する施設は地元負担0%、受益者が特定されるものは1%に統一。令和4年度から着手する「木曾川用水濃尾第二施設改築事業」と「地盤沈下対策事業木曾川用水2期地区」は地元負担を0%とするよう県知事に要望活動を行い、現在検討されている。



【その他の質問】

公共施設の管理について